

渥美半島の観光スポット



伊良湖岬恋路ヶ浜 ①

伊良湖岬の最先端には昭和4年に建てられた白亜の灯台があり、行き交う船の安全を見守るとともに、渥美半島のシンボリック的存在となっています。また周辺には散歩コースが整備され、先端部からは三島由紀夫作「潮騒」の舞台となった神島を見渡すこともできます。

蔵王山 ④

山頂にある展望台からは360°の大パノラマが広がり、穏やかな三河湾や波高い太平洋が一望できます。また、山頂の風力発電施設(風車)は、「地球環境を活かした環境負担の少ないまちづくり」のシンボルにもなっています。

◆展望室営業時間/午前9時～午後10時(年中無休・入場無料)



片浜十三里 ⑦

日出の石門から浜名湖まで約70km、雄大な直線の白い砂浜が続いています。どこまでも続く海岸線は美しく、眺めるポイントは日出の石門あたりがベストです。また、サーフィン世界大会が行われる太平洋ロングビーチも見どころです。



日出の石門 ②

太平洋の荒波の浸食によって真ん中が空洞となった日出の石門は、沖の石門と岸の石門の2つがあり、その名の通り日の出の時には美しいシルエットを見せてくれます。西に神島

を経て志摩半島を望み、東には延々と続く片浜十三里を眺める雄大な風景が満喫できます。

渥美半島の菜の花 ③

早春の渥美半島では随所に菜の花が咲き誇り、春の訪れが実感できます。菜の花狩りやライトアップなどのイベントが人気です。

◆菜の花スポット(見頃 1月上旬～3月中旬)

- ・田原市(吉胡、加治、馬草)
- ・渥美半島(R259線沿)伊良湖地区一帯および伊良湖菜の花ガーデン
- ・国道42号線和田小学校周辺



「椰子の実」の記念碑 ⑤



明治31年夏、民俗学者の柳田国男が伊良湖に滞在した時に拾った椰子の実の話を親友の島崎藤村に語ったところ、それが素材となって椰子の実の叙情詩「名も知らぬ遠き島より流れるやしの実ひとつ…」が生まれました。昭和11年に大中寅二によって作曲され、現在も国民歌謡として親しまれています。

サンテパークたはら ⑥

日本有数の農業産地である渥美半島の拠点サンテパークたはらは、芦ヶ池のほとりにあって、花いっぱい溢れる農業体験型の公園です。農林漁業体験実習館をはじめ、新鮮な農畜産物の直売所、野菜の遊園地、小動物園などがあり、時のたつのも忘れるほどゆったりできます。

恋人の聖地 ⑧

恋路ヶ浜と伊良湖岬灯台は、その美しさから恋人たちのプロポーズが似合うスポットとして、「恋人の聖地」に選ばれました。また、恋人たちの願いが叶うといわれている「願いのかなう鍵」には、二人の願いを叶えようと多くの恋人たちが訪れ、砂浜に華を添えます。



シェルマよしご ⑨ (吉胡貝塚史跡公園)

国指定史跡の縄文時代の貝塚で、広い公園と貝塚や、縄文人の暮らしがわかる資料館があります。

田原市博物館 ⑩

田原城二ノ丸跡に建てられた“田原市博物館”。渡辺華山や田原藩に関する作品・資料が多数展示され、田原の歴史を紹介するシンボルとなっています。

◆TEL.0531-22-1720

開館時間/午前9時～午後5時(月曜定休)

